

「情報家電・ブロードバンド・ＩＴ」産業発掘戦略 フォローアップ概要

「ＩＴライフスタイル革命」「自由かつ安全な情報空間」の実現に向け、戦略技術への政策資源の重点的投入等の取り組みは着実に進んでいる。

1. 戦略技術への政策資源の重点的投入

(a) 政府調達・実証・技術開発支援

- 政府におけるＩＰｖ６対応ネットワークシステム、テレビ会議システム等、先導的技術の率先導入
- 各府省申請・届出等手続の電子化に関わる共通基盤システムの整備及び運用の開始
- 次世代ディスプレイ技術、携帯電話等を用いた多言語自動翻訳システム等、中核となる重要技術・システムに関する研究開発の実施
- 情報家電へのＩＰｖ６の機能の拡充・活用等に関する研究開発の実施
- 日韓間の超高速ネットワークを利用したＩＰｖ６、映像伝送技術等に関する共同実証実験の開始
- 分散したコンピュータをネットワークで結び、超高速の計算環境を構築するための研究開発プロジェクトの開始

(b) 中長期的な研究開発投資

- ユビキタスネットワーク技術、第４世代移動通信システム技術等について、要素技術確立のための研究開発の実施

(c) 融合技術開発等

- 農林水産、交通、環境、防災・消防等の分野における応用システム開発、実証実験等の実施
- 通信・放送の融合技術に関する研究開発支援、ナノテクノロジーとＩＴの融合技術による応用システムの開発等の実施

(d) I T 投資減税・研究開発税制

- I T 投資促進税制、試験研究費の総額に対する特別税額控除制度等の創設

2 . 産学官の連携

- 産学官連携による応用システム開発等の推進(携帯電話型環境モニタリング機器等)
- I T ベンチャー・大学等の共同研究開発を対象とした助成の実施

3 . 知的財産権問題への対応

- 著作権法の改正(映画の著作物の保護期間の延長：公表後 50 年→70 年、侵害行為や損害額の立証負担の軽減等)
- 日中経済パートナーシップ協議、日台間の貿易経済会議・日韓文化交流局長級協議等において、海賊版対策の強化、著作権関係条約の批准等の要請

4 . 国際標準化活動に向けた対応

- I P v 6、I C カード、情報セキュリティ等の関連技術における国際標準化に向けた活動の実施
- 高度道路交通システム(I T S)に関する技術等の国際規格化

5 . 環境整備

- 電気通信事業法の改正(一種・二種の事業区分の廃止等)等、各分野における自由かつ公正な競争を促進するための規制改革の実施
- 重要インフラ事業者に対するサイバーテロ対策の強化要請や、国民向けにセキュリティに関する情報を提供するポータルサイトの開設の実施

6 . 人材育成等の推進

- 独創性に優れたソフトウェアのクリエイターの発掘・育成事業の実施
- O D A 等を活用したアジア各国からの研修受け入れ、専門家派遣や e-learning 等の実施